

AUGUST 1991 VOL.40

ARAI NEWS



オープンフェイスの大きな魅力は、自然との調和です。オープンフェイス特有の広い視界は、風景や大地を身体中で感じながらゆったりと走るライダーのためにあります。アライがSZに求めたのは、頭の一部としてかぶっていることを忘れさせるような、最も自然に近いオープンフェイスです。だからこそ、シールドに視界を妨げるゴミや虫がついたときに、すぐに手入れのできる「アドシス」や、汚れが気になった時も丸洗いのできる内装が採用されているのです。中でも気を使ったのは、目には見えなくても救急となって現れる軽量化と、自然な装着感を生み出すフィット感です。理想のオープンフェイスは、目には見えない箇所にポイントがあるのです。

軽量化のためにもっとも重要なのが帽体です。一般的には、帽体を薄くして規格ギリギリにすれば、ある程度の軽量化は可能です。逆に頑丈にして厚くすれば重量は当然重たくなります。アライは安全性には、頑固なメーカーです。SZにも安全機能には充分なまでの余裕を持たせながらも、軽量化するという相反

する要素を求めました。そのために採用されたのが「スーパーファイバー」です。スーパーファイバーは、レース用に使用される、剛性、弾性共に優れたアライだけが独占使用する先端素材です。しかも、成型段階で無駄な重量を極力つけないように、このスーパーファイバーに特殊合成繊維をはさみ込み、ひとつひとつを技術者が丹念に成型する「スーパーコンプレックス製法」で作られています。先端素材と技術力を両立させることで高剛性で軽い帽体を実現しているのです。しかし帽体だけでは、どんなにがんばっても安全性能に妥協しない限り、軽量化の限界はついてまわります。そこでSZでは、内装でも軽量化を追求しています。まず不要な装飾を削ぎ、通気性と排水性には充分に気を遣いながら、ひとつひとつの布地やクッション材の重量を確認して選んだ素材から設計されています。その結果、シンプルで機能優先の軽い内装に仕上げる事ができました。

次に、かぶった時のフィット感は、ライダーの重量感（疲労感）を減らす大きな要素です。

SZのフィットは、決して一点だけを強く押さえる事なく、頭全体を面で包み込むようなフィット感に仕上げられています。フルフェイスのような深いかぶり心地と、長時間使用しても違和感を感じない全体の押さえが、自然な装着感を生み出す大切なポイントです。また、頭と頬のバランスが合わない方に、オプションで調節が可能なイヤークップも用意しています。

SZの総重量は、標準タイプで1,200グラム。フルフェイスの平均的モデルが、1,500グラム。RX-7Rのような特別に軽いモデルでも1,350グラムですから、シールド付きで、安全性に余裕を持ったオープンフェイスとしても、充分以上に軽いモデルであることがおわかりでしょう。

●自然と調和することを目的とするオープンフェイスでは、目に見えない重量とフィット感が最も大きなポイントだと言ってもさしつかえありません。オープンフェイスを選ぶときには、見るだけでなく、手に持って、そしてかぶって選んで見てください。

軽くて疲れないオープンフェイス「SZ」

(株)アライヘルメット
 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
 TEL(048)641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です
 製品の事なら、お気軽にご相談ください
 直通 TEL(048)645-3661